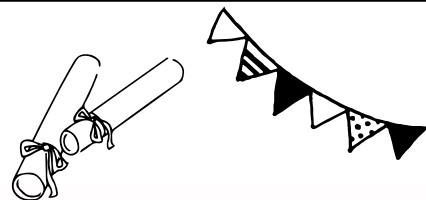




島立ち



海星中学校

「島立ちの決意」。卒業の日、島を旅立つ中学3年生が、保護者、地域の方に向かって感謝の気持ちやこれからの目標を伝える。これは休校した海陽中の伝統で、海星中が受け継いだものだ。令和4年3月15日、卒業式。家族、教員は成長した生徒たち1人1人の話に聞き入った。祖父母に生活の面倒をみてもらっていた生徒は「これまでありがとう」と感謝を伝え、休校した海陽中へ人一倍愛着を持っていた生徒も、「ここ（海星中）を卒業できてよかった」とさわやかな笑顔を見せた。



15歳で親元を離れる。本土とは異なり、中学3年間で独り立ちの準備をしていく。まだ子供だと思っていた生徒たちが、進路を決定していくにつれて、顔つきが変化。大人びた表情に変わっていった。成長を見つめた城ヶ原桂子教諭は、旅立つ13人に向かい「優しく、明るく育ったのは、家庭の力。離れ離れになっても、泣きそうになっても、1人で堪えなくていい。心の中にはいつも家族がいるから」とエールを送った。

家族がいる。一緒に過ごした仲間もいる。大丈夫。元気に行ってこい！